

# ハートランド平尾台株式会社

## I 法人の概要（令和3年4月1日現在）

- 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号
- 設立年月日 平成8年4月1日
- 代表者 代表取締役 加茂野 秀一
- 資本金 91,200千円
- その他資本金に準ずる額 73,838千円
- 北九州市の出資金 39,902千円（出資の割合 24.2%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9人	0人	1人	8人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	8人	0人	0人	8人
職 員	7人	0人	0人	7人

## II 令和2年度事業実績

### 1 事業の経過及び成果

#### (1) 経過

令和2年度は、新型コロナ感染防止による臨時休園や大規模イベントの中止などにより、売上高、集客数ともに減少した。しかしながら、新型コロナ雇用調整助成金などの収入を得たことや、イベントの中止による開催経費の削減や来園者の減少に伴う仕入経費の抑制に努めたことにより、黒字決算となった。なお、削除した経費等を活用して、コロナ禍においては、屋外施設である郷は集客のチャンスと捉え、近年、右肩下がりが続く売上高と集客数を来年度以降は増加傾向に転換するべく、来園者のニーズに沿った魅力ある施設の整備など、将来に繋がる投資も行った。

#### (2) 成果

- ① 「平尾台自然の郷」の入園者数 115,750人（令和元年度 189,275人）

入園者数は、上期 54,315人（前年度 126,738人）、下半期 61,435人（前年度 62,537人）となった。上半期、下半期ともに減少し、通年では前年度を約7万4千人下回った。

- ② 「福岡県平尾台自然観察センター」の入館者数 14,247人（令和元年度 34,198人）

入館者数は、上期 6,264人（前年度 23,918人）、下半期 7,983人（前年度 10,280人）となった。上半期、下半期ともに減少し、通年では前年度を約2万人下回った。

- ③ 売上・利益

売上高は、199,834千円、経常利益は、7,477千円となった。法人税等控除後の当期純利益は、4,643千円（令和元年度：3,898千円）となった。

## 2 主な事業実施状況

### (1) 「平尾台自然の郷」

#### ア PR活動

- ・春、夏休み、秋の行楽シーズンに焦点を当てた営業・広報活動を実施した。
- ・イベントバンク（Web）を使用した幅広いPR活動を実施した。
- ・SNS（Facebook、Twitter、Instagram）の掲載やトリップアドバイザー他、旅行観光情報サイトの活用を行った。また、新たな取組みとして、令和2年9月からYouTube動画広告配信を開始した。
- ・各メディアへ積極的なプレスリリースを実施した。
- ・他の施設（皿倉ビジターセンター等）とタイアップし、アウトリーチ活動を実施した。

#### イ 各種事業の実施（新規分）

- ・スタンプラリーイベント「うんこおでかけドリル」を実施した。
- ・「星空開園」（8月）、「ブルームーン観望会」（10月）を実施した。
- ・平日の園内移動として、ランドカーを導入した。
- ・キッズスペースを拡張するとともにフリーWi-Fiを導入し、利用者の利便性の向上を図った。
- ・園内2ヶ所に親子トイレを設置した。

#### ウ 各種事業の実施（継続分）

- ・天体観測イベントとして、ペルセウス座流星群鑑賞会（8月）、平尾台お月見会（10月）を実施した。
- ・学校との連携イベントとして、小学校環境体験科授業（10月）を開催した。
- ・地域との協働イベントとして、新米まつり（9月）、平尾台野焼き見学会（2月）、平尾台ふゆはなび（3月）を実施した。
- ・平尾台の特色を活かしたイベントとして、ガイドツアーを実施した。
- ・スポーツイベントとして、自転車障害物競走（シクロクロス）（12月）を実施した。
- ・その他のイベントとして、ブルーベリー摘み取り（7・8月）を実施した。

### (2) 「福岡県平尾台自然観察センター」

- ・平尾台散策道整備、遊歩道草刈、野草調査などにより、平尾台の景観維持、登山・散策者の安全対策に取り組んだ。
- ・野外イベントとして、鍾乳洞探検、登山（九州自然歩道、貫山展望）、観察会（野草、コウモリ）などを実施した。
- ・屋内イベントとして、ミニ門松作り体験を、特別展示として、写真展（野草、きのこ）やカルスト文化祭などを実施した。

### Ⅲ 令和2年度決算

#### 1 貸借対照表（総括表）

令和3年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	197,155,723	流 動 負 債	25,427,173
現 金 預 金	176,358,582	買 掛 金	408,870
売 掛 金	14,105,673	未 払 金	14,896,482
商 品	2,986,753	未 払 費 用	4,570,812
食 材 品	220,288	預 り 金	373,109
貯 蔵 品	194,386	未 払 法 人 税 等	2,447,700
焼 酎	2,976,412	未 払 消 費 税	2,730,200
未 収 入 金	313,629	引 当 金	2,447,324
		賞 与 引 当 金	2,447,324
固 定 資 産	83,114,994	負債の部合計	27,874,497
（有形固定資産）	(82,815,054)	純資産の部	
建 物	7,357,866	科 目	金 額
建物附属設備	2,888,808	資 本 金	91,200,000
構築物	1,641,002	資 本 剰 余 金	73,837,619
車両運搬具	3,616,548	資本準備金	22,800,000
工具器具備品	14,404,572	その他資本剰余金	51,037,619
土地	52,906,258	利 益 剰 余 金	87,358,601
（無形固定資産）	(291,200)	繰越利益剰余金	87,358,601
電話加入権	291,200	株 主 資 本 合 計	252,396,220
（投資その他の資産）	(8,740)	純資産の部合計	252,396,220
預 託 金	8,740		
資 産 合 計	280,270,717	負債及び純資産合計	280,270,717

2 損益計算書（総括表）

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	(営業損益の部)		
	営業収益		199,833,671
	売上高	199,833,671	
	営業費用		196,355,765
	売上原価	6,605,711	
	販売費及び一般管理費	189,750,054	
	営業利益		3,477,906
	(営業外損益の部)		
	営業外収益		3,998,953
	受取利息	18,147	
雑収入	3,980,806		
営業外費用		0	
営業外利益		3,998,953	
経常利益		7,476,859	
益 の 部 特 別 損	特別利益		0
	固定資産除却益	0	
	特別損失		1
	固定資産除却損	1	
税引前当期純利益			7,476,858
法人税、住民税及び事業税			2,833,875
当期純利益			4,642,983

## IV 令和3年度事業計画

### 1 「平尾台自然の郷」

#### ① 新たな取組み

お客様の満足度の向上を図り、より一層魅力のある施設にするために赤字部門のレストランの外注化による質の高いサービスの提供やグランピング宿泊施設の導入による新たな客層の獲得などに取り組む。

北九州モノレールや JR 西日本、JR 九州などの交通事業者と協働し、企画商品を造成する。

近年のキャンプ需要の増加に対応して冬キャンプおよび春休みの営業日を拡充するとともに、ニーズに応じてオートサイトにAC電源を整備する。

遊休地等を活用したパークゴルフ場や冒険広場の整備に着手する。

#### ② 利便性の向上

拡張したキッズスペースに給湯設備を備えた授乳室を整備し、利便性の向上を図る。

#### ③ PR 活動

写真投稿サイトを使ったインターネット上でのイベント実施や幼稚園、保育園、福祉施設へのチラシ配布を実施する。

#### ④ 夜間開園

5～10月の金土日祝日は20時まで開園時間を延長し、平尾台の自然を活かしたイベントを開催する。

#### ⑤ 自主事業の収益改善

ファーストフードコーナーを復活して飲食部門の強化を図る。また、キッチンカー等の屋外販売者の新規誘致に努め、出店料等の増収を図る。

#### ⑥ ボランティアの育成

平尾台で活動を希望する各種ボランティア（ガイド・ログ）を育成する。

#### ⑦ 他の施設との合同イベントの開催

他の施設とのコラボレーションによる自然体験イベントや陶芸等の体験教室の充実を図る。

### 2 「福岡県平尾台自然観察センター」

#### ① 新規集客対策の実施

定例以外の登山や観察会を増やすことにより、新規参加者やリピーターの増加を図る。

#### ② ボランティアの育成

能動的な活動ができるボランティアを育成するため、外部講師による講習会、他施設との交流会、専門資料による学習会等を開催する。

③ 自然保護意識の醸成

年間を通して自然と触れ合うイベント等を行い、カルスト台地特有の自然とその希少価値を意識することにより、自然保護意識を醸成する。

## V 令和3年度予算

### 1 予定損益計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日 (単位：千円)

勘定科目	令和3年度予算
(営業損益の部)	
売上高	217,511
売上原価	193,838
一般管理費	21,932
営業利益	1,741
(営業外損益の部)	
営業外収益	578
受取利息	18
その他営業外利益	560
営業外費用	0
営業外利益	578
税引前当期利益	2,319
法人税・住民税及び事業税	600
当期利益	1,719

## VI 役員名簿

令和3年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	加茂野秀一	社長
取締役	大庭千賀子	北九州市 企画調整局長
//	北里勝利	北九州市 産業経済局長
//	東義浩	北九州市 建設局長
//	三善 顕	三菱マテリアル(株) 九州工場事務部長
//	坪井治夫	(株)ユアーズ 取締役管理本部長
//	安藤俊作	住友大阪セメント(株) 小倉事業所副所長
監査役	吉野浩実	(株)西日本シティ銀行 北九州総本部長
//	糸永卓見	(株)太平設計 代表取締役